“ふるさとちば”のための政策推進を

市原あつし 県議会リポート

発　行／自由民主党千葉県議会議員会　〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13　電話043(227)7411

12月県議会一般質問

河川整備で浸水対策を急げ

茂原市選出の市原淳県議は、12月定例議会の一般質問に登壇し、河川整備や地域医療、カーボンニュートラルや道路整備など、様々な課題を取り上げ、県民・市民の立場から県執行部の考え方をただしました。質問と答弁及び要望について、その概要をお伝えします。

市原議員　一宮川についてうかがう。現在、茂原市の一宮川中流域においては、令和元年の大雨被害による激甚災害の緊急事業が行われている最中であり、川幅の拡大、調節池の追加工事などが行われている。

県としては、一宮川流域治水プロジェクトとして推進してきているが、その進捗が気になる。

そこで伺う。**記録的な大雨となった一宮川流域における浸水被害の状況はどうか。**

県土整備部長　本年9月の大雨で、一宮川の流域平均雨量は24時間最大383ミリメートルを記録し、これは、過去最大の降雨量となりました。

現時点での被害状況としては、浸水面積が約1,550ヘクタールであり、浸水戸数は、床上浸水が約920戸、床下浸水が約1,160戸となっております。

市原議員　**一宮川の支川である豊田川、阿久川、鶴枝川における整備計画の見直しが必要と考えるが、どうか。**

県土整備部長　今回の浸水被害を受け、県では、浸水被害のメカニズムを検証し、これまでの河川整備の効果や、今後の浸水対策のあり方を検討するため、有識者で構成する検証会議を設置し、1回目の会議を開催したところです。

この検証会議で取りまとめられる結果を踏まえ、計画規模を上回る降雨に対する今後の浸水対策について、流域市町村と一体となり、検討してまいります。

市原議員　上流部の事業計画完了予定は令和11年度末だが、その間の降雨に対応するため、各自治体においても内水対策を進めるべきである。

内水氾濫は、しっかりとしたシミュレーションなどを行い、科学的見地に基づいて行えば効果を発信できると考える。

そこで伺う。**内水ハザードマップの作成を促進すべきと思うがどうか。**

知事　内水ハザードマップは、内水氾濫により発生する浸水被害について、その範囲や深さ、避難場所等を住民に示すもので、この情報を平時から住民に周知をすることで、日ごろからの備えや、災害時に円滑な避難を促すなど、被害を軽減する効果が見込まれます。

そのため、県では、内水ハザードマップの作成を市町村に促しているところであり、また、マップを作成する際のシミュレーションによる浸水想定図は、市町村が雨水排水施設の整備などの対策を計画的に行う上で、重要な資料になっています。

現在、県内では21市町が内水ハザードマップを作成しているところです。

要望　**一宮川流域における浸水被害については、先に内水氾濫が起きている地域もあったことが想定されることを鑑みて、県として一宮川水系流域治水プロジェクトの中で特に内水対策に関しての項目をより進めていただくよう要望する。**

市原議員　茂原市の北に位置する南白亀川水系赤目川は県の管理する二級河川であり、河川整備が長年にわたり行われている。

赤目川は、度々の浸水被害を受けてきた場所である。

そこで伺う。**赤目川における河川整備の進捗状況はどうか。**

県土整備部長　県では、南白亀川との合流点から上総橋までの7・7キロメートル区間で河川整備を行うこととしており、これまでに、南白亀川合流点から萱場橋までの4・2キロメートル区間の河道拡幅と、その上流側右岸にあるB調節池が完成しています。

また、B調節池の対岸に位置するA調節池については、今年度排水設備の設計が完了したことから、今後、整備を進める予定です。

さらに、萱場橋上流側では、新桂島堰について、今年度末の完成に向けて改築工事を進めているところです。

12月県議会一般質問に登壇した市原議員

医療提供体制の確保を図れ

市原議員　山武長生夷隅保健医療圏は医師少数区域であり、また救急搬送時間も要する地域である。

この医療圏は北南に長く位置しており、山武地域では東千葉メディカルセンターを中心とした医療連携に取り組むことが可能である。一方夷隅地域についても安房医療圏との連携が現実的である。長生地域においては管外搬送事例も多くなっており、実際の運用に即した医療圏への移行が求められる。

この地域では、山武長生夷隅地域保健医療連携・地域医療構想調整会議が設定されているが、その内容が気になるところである。

そこで伺う。**山武長生夷隅地域保健医療連携・地域医療構想調整会議の実施状況はどうか。また、同医療圏における主な課題は何か。**

保健医療担当部長　山武長生夷隅地域保健医療連携・地域医療構想調整会議は、保健医療圏内における関係者の連携を図り、保健医療体制の検討や地域医療構想の推進に必要な協議を行うため、年2回程度開催しています。

本年度は、保健医療計画の改定に関する意見聴取や、医療機関毎の役割分担の協議等のため、2回開催しており、さらに3回目の開催を予定しているほか、山武地域においては、医療機能の更なる役割分担の検討を行うための部会を11月に開催しました。

出席した医療関係者や市町村等からは、地域における医療従事者数や、救急、周産期医療提供体制が不十分との指摘があり、県としても医師偏在を表す指標や救急搬送時間において県内最下位の状況であるなど、課題があると認識しているところです。

市原議員　**山武長生夷隅保健医療圏の区域の設定について検討状況はどうか。**

保健医療担当部長　医療法に基づく保健医療圏は、地理や交通事情などとともに、患者の受療動向などを考慮して、一体の区域として医療提供体制の確保を図るための地域的な単位として、保健医療計画で設定するものです。

次期計画での区域の設定については、山武長生夷隅や隣接する医療圏での協議の場において、医療関係者や市町村などの方々から御意見を伺い、これらを総合的に勘案し、現行と同様とする案を策定しており、今後、医療審議会等での意見を踏まえ、年度内に決定する予定としています。

要望　**山武長生夷隅保健医療圏の区域の設定について、医療従事者の確保状況や救急、周産期医療などの提供状況、医療機関の役割分担・連携の推進状況等に応じた実態にあった医療圏のあり方を検討するよう要望する。**

●茂原市と県政に関するご要望をお寄せください。

市原あつし 県議会事務所
〒297-0022 茂原市町保7-101　市原ビル3F
TEL0475-36-7775　FAX0475-36-7776

カーボンニュートラルを勧め地球温暖化対策を

市原議員　地球温暖化対策としてカーボンニュートラルが勧められている。

二酸化炭素（ＣＯ２）排出量を取引するカーボン・クレジット市場が10月に東京証券取引所で開設された。

同市場では、再生可能エネルギーの利用によるＣＯ２削減量や、森林管理を通じた吸収量を国が認証する「Ｊ－クレジット」を売買する。

三方海に囲まれた千葉県においては、ブルーカーボンの推進、また田んぼの中干し期間を延長することにより二酸化炭素の約25倍の温暖化効果のあると言われるメタンガスの発生を抑制することができるとされている。

「中干し」とは、6月上旬頃に田んぼの水を抜いて、土に軽くヒビが入るまで乾かす作業のことで、これに要する期間が中干し期間である。

この期間延長によりメタンガス発生が抑制され、これをＪクレジット化し、売買が普及されつつある。

そこで伺う。**メタンガス排出削減に効果のある「水稲栽培における中干期間の延長」に関して、どのような試験研究に取り組んでいるのか。**

農林水産部長　「水稲栽培における中干し期間の延長」については、メタンガスの排出削減効果が認められている一方、国の資料によれば、中干し期間を7日間程度延長すると、3％程度米の収量が減るとの報告があります。

このため、県農林総合研究センターでは、中干し期間を延長した場合であっても収量を維持できるよう、中干し開始時期の前倒しなどについて、今年度から3年間、試験研究に取り組んでいるところです。

今後は、同様にメタンガスの排出削減に効果があるとされている、収穫後の稲わらのすき込み時期についても研究してまいります。

市原議員　カーボンニュートラルの実現に向けて、燃焼時にＣＯ２を排出しない水素は、次世代エネルギーとして期待されており、水素の実用化に向けては様々な取組が進められている。

水素の実用化に向けた様々な取組が進展していく中で、民間の活力を最大限に活かしながら、県内における水素の利活用の促進を図っていくべきと考える。

そこで伺う。**県内企業における水素の利活用の促進に向け、県はどのように取り組んでいくのか。**

知事　燃焼時にＣＯ２を排出しない水素は、脱炭素化に向けた代替燃料や原料の一つとして、欠かすことのできないものであり、素材・エネルギー産業のほか、交通や物流など、幅広い分野での利活用を促進していく必要があります。

このため、脱炭素化の取組を進めるに当たって大量の水素が必要となる京葉臨海コンビナートでは、県が昨年設置した官民協議会において、水素の共同調達や利活用などについて、検討を行っているところです。

このほか、今後まとまった需要が見込まれる物流事業等においても、トラック等の燃料電池車への転換の可能性や、需要を踏まえた効率的な水素供給のあり方などについて検討を進めており、県としては、こうした様々な取組を通じて、県内企業による利活用や連携などを促進してまいります。

要望　**県内には、千葉大学を中心とした「千葉ヨウ素資源イノベーションセンター」も設置されており、ヨウ素を多角的に利用することが進められている。県においても新たな産業創出に向けて連携を要望する。**

自席から要望する市原議員

交通の円滑化のため道路整備を急げ

市原議員　長生グリーンラインは、圏央道の茂原長南インターチェンジと接続し、今後予定されている圏央道の全線開通の効果を外房地域に広く波及させるため、また周辺交通の円滑化や緊急輸送道路ネットワークの確保といった面からも早期整備が必要である。

そこで伺う。**長生グリーンラインの進捗状況はどうか。**

県土整備部長　当該道路は、圏央道の整備効果を外房地域に広く波及させるうえで、大変重要な道路です。

現在、長南町道から県道茂原大多喜線までの2・5キロメートル区間で、今年度中の供用に向け、道路改良工事などを進めるとともに、県道茂原大多喜線から広域農道までの区間で、用地取得を進めています。

さらに、これに続く茂原市から一宮町までの5キロメートル区間については、今年度新たに事業化し、現在全線に渡って測量を実施しているところです。

市原議員　9月の台風13号の接近に伴う大雨により、茂原市内の鶴枝川では、一宮川との合流点付近において、浸水被害が発生した。

そこで伺う。**長生グリーンラインの整備に伴う調整池の整備状況はどうか。**

県土整備部長　圏央道の茂原長南インターチェンジ出入口から広域農道までの6・5キロメートル区間では、道路整備に伴い、地中に浸透しなくなった雨水排水の流出を抑制する対策として、8箇所で調整池を整備することとしています。

このうち、長生グリーンラインの供用済み区間内の1箇所は完成しており、今年度供用予定の区間で、現在、3箇所の調整池を整備しています。

市原議員　県道茂原白子バイパスは、県都一時間構想の一翼を担う、長生都市の東西の骨格軸として位置づけられている。

そこで伺う。**県道茂原白子線バイパスの進捗状況はどうか。**

県土整備部長　県道茂原白子線バイパスは、茂原市と白子町を結ぶ、約10キロメートルのバイパスであり、現在、県道一宮片貝線から県道飯岡一宮線までの2・1キロメートル区間で整備を進めています。

これまでに1・1キロメートルを供用し、残る1キロメートル区間の用地取得率が約9割となっており、まとまった用地を確保できたところから、道路改良工事を実施しています。

また、整備区間の西側に続く、白子町の2・9キロメートルの未事業化区間では、現地の測量に着手するため、先月、地元説明会を開催したところであり、引き続き、地元の皆様の御協力をいただきながら、事業を推進してまいります。

市原議員　国道128号本納跨線橋からJR永田駅までの二車線区間について、私の呼びかけにより茂原市より4車線化の要望書を提出した。

そこで伺う。**国道128号茂原市法目地先から大網白里市永田地先までの4車線化について検討状況はどうか。**

県土整備部長　国道128号の4車線化については、交通量が多く、渋滞が発生しやすい箇所から、順次、進めてきたところです。

茂原市法目地先から大網白里市永田地先までの4車線化については、千葉外房有料道路の無料開放後の影響などを把握するため、交通量調査を行い、現在、交通課題の整理を行っているところです。

さらに、現在事業中の大網白里市富田地先が4車線化した後の交通状況等も勘案しながら、検討してまいります。

長生の森公園に照明設置を

市原議員　県立長生の森公園は茂原長柄スマートインターに近接し、非常にアクセスのよい立地にある。

公園内には、野球場、テニスコート、ゲートボール場、そして多目的広場が整備されており、地元市民以外にも県民からも多く利用されている。

茂原市は運動施設の更新が遅れており、照明設備の整備された施設が少ない現状がある。

照明設備を設置して、より幅広く公園利用を進めることが県民のニーズにこたえることと考える。

長生の森公園には、以前より野球場の照明設備の要望がされているが、進捗が気になるところである。

そこで伺う。**県立長生の森公園の野球場に照明設備の設置が必要と思うがどうか。**

都市整備局長　本公園の野球場は、平成14年に開設し、高校や大学及び社会人の野球大会が開催されるなど、多くの方々に利用されております。

野球場の照明設備の設置については、これまで、県内で照明設備が設置されている野球場の利用状況や、本公園の周辺環境への影響調査を行うとともに、地元市や利用団体などの利用者へのアンケート調査を行ってきたところです。

今後は、公園管理棟周辺の整備を進め、その進捗状況なども踏まえながら、照明設備の設置について、引き続き検討してまいります。

要望　**野球場への照明設備の設置を検討していただいているとのことであった。引き続き進めていただくとともに、テニスコートや多目的広場においても照明設備の設置を進めていただくよう要望する。**